

短歌を読む

問1 標準

短歌『校庭の／白線うすく／秋の風／走ったあとの／息まだ熱い』を読みなさい。この短歌の主な場所を答えなさい。

解答：校庭

補足：初句の『校庭の』から判断できる。

問2 標準

短歌『校庭の／白線うすく／秋の風／走ったあとの／息まだ熱い』で、走った直後の体の状態がわかる部分を抜き出しなさい。

解答：息まだ熱い

補足：走り終えた後も息が熱いという体の状態が具体的に表されている。

短歌の心情

問3 標準

短歌『駅前の／時計見上げて／手を振れば／角曲がるまで／君を見ていた』に描かれている場面として最も適切なものはどれですか。

ア 誰かと別れた直後    イ 誰かを迎えに行く途中    ウ 一人で試合をしている最中

解答：ア

補足：手を振ったあとも相手が角を曲がるまで見送っていることから、別れの場面とわかる。

問4 標準

短歌『駅前の／時計見上げて／手を振れば／角曲がるまで／君を見ていた』の結句『君を見ていた』から感じられる心情として最も適切なものはどれですか。

ア 別れを名残惜しく感じる気持ち    イ 相手に強く腹を立てる気持ち    ウ 勝負に勝って誇らしい気持ち

解答：ア

補足：相手が角を曲がるまで見送り続ける様子から、別れの名残惜しさが読み取れる。

俳句を読む

問5 標準

俳句『夕立や／雨粒光る／駅の窓』を読みなさい。この俳句の季節を答えなさい。

解答：夏

補足：『夕立』は夏の季語である。

問6 標準

俳句『夕立や／雨粒光る／駅の窓』に描かれている情景として最も適切なものはどれですか。

ア タ立の雨粒が駅の窓で光っている    イ 雪が駅の窓を真っ白に覆っている    ウ 強い日差しで駅の窓が乾いている

解答：ア

補足：『夕立』『雨粒光る』『駅の窓』をそのまま結び付けて読める。

俳句の表現効果

問7 標準

俳句『朝霜や／靴音ひびく／通学路』の『や』にはどのような効果がありますか。

ア 『朝霜』を強く印象付け、そこで一度切って後の情景へつなぐ    イ 文章を疑問文にする    ウ 季節を夏に変える

解答：ア

補足：切れ字『や』によって『朝霜』が強調され、その後の音の描写へ場面が広がる。

問8 標準

俳句『朝霜や／靴音ひびく／通学路』で『靴音ひびく』と表したことで、どのような朝の様子が伝わりますか。

解答：周囲が静かで、靴音がはっきり響く冷たい朝の様子。

補足：静けさと寒い朝の雰囲気の方が読み取れていればよい。